

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

「立科教育」への期待

立科町教育相談員 岩上起美男

本年度が推進元年の「立科教育」は、
蓼科高等学校初代校長・保科百助先生
(1868～1911)を輩出し、地域
で「蓼高」を創立した建学の精神と「教
育は国家百年の計」の教えを基に、立科
町の教育モデルを確立することによって、
新たな教育隆盛を期しています。

目標は、すべての子に「生きる力」を
つけることです。そのために、たてしな
保育園・立科小学校・立科中学校・蓼科
高校の日常的な連携を中核に据えた「立
科カリキュラムによる学校連携事業」及
び「幼児教育の充実」「学力向上」「豊か
な人間性の育成」「ニーズに応じた特別
支援教育」の実践と共に、蓼科高校が新
しい時代に向かって、新たに発展してい
くための支援を行います。

殊に、県下初の「町教委独自の算数・
数学科教員3名配置による小中高の授業
の充実(小中高連携学力向上事業)」「幼
稚園カリキュラムを導入した幼児教育」
「家庭・学校・地域・行政・事業所等と
のネットワーク組織づくりと連携」は、
「立科教育」の重点目標として位置づけ
られているように思われます。

それゆえ、平成24年11月の「広報たて
しな」及び立科町教育委員会作成資料の
仄聞ながら、立科町に育つ子どもたちへ
の深い慈しみと「立科っ子」の健やかな
成長を願う温かいまなざしを感じ、教育
相談の立場からも大きな期待と関心を抱

いています。

ぜひ町民の皆様方こそぞって、「立科教
育」の趣旨と内容を理解され、その目標
の実現のために尽力されますことを切望
致します。

「立科教育」の目標達成のためには、
まず何よりも、子育て及び教育に携わっ
ている方お一人お一人の、「当事者」と
しての自覚と責任が問われているのでは
ないでしょうか。

「立科教育」も、「当事者」の意識がな
く、「システム」の外側から無責任に瑕
疵を問えば、必ず幾つかの問題点が指摘
できるでしょう。なぜなら、この世に
「完璧」はないからです。

「立科教育」におけるご自分の役割と、
このような、どのように配慮しても派生
する問題に対して、ぜひとも、「立科教
育」という「システム」の内側で、「当
事者」として立ち向かっていただきたい
と存じます。

そのために、今現在、子育てに取り組
んでいる若い親御さんへ、苦い反省と後
悔に基づいた「子育てに関する十四の提
言」を申し上げます。すでに多くの方が
実行されていることがらですが、「立科
教育」の大きな柱となる「家庭教育」の
基本的な心得ですので、「立科教育」推
進に当たって、あらためてご確認いただ
ければ幸いです。

① 親とは、子育てという大変な営みを
通して、一人の人間として、社会人
として、男性もしくは女性として、
さらに成長し続ける大人である。

② 自分の親が、「子どもであった自分」
にしてくれたことやしてくれなかつ
たこと、してほしかったこと、して
ほしくなかったことなどのすべてか
ら学ぶことが、最も参考にすべき
「親としての自分」の子育ての知恵
である。

③ 成長とは、人間誰もが生来持つてい
る良さを失うことなく、より賢く、
より健やかな心身を育むことである。
④ 様々な情報が氾濫する情報社会であ
るが、かけがえのない、無二の存在
である我が子の健やかな成長を、誰
よりも強く願う「親としての自分」
が、日々、そのときその場で感ずる
我が子への思いこそ、最も信頼でき
る「子育て情報」である。

⑤ 子育て及び教育の原点は「聴くこ
と」にあるので、我が子の話に親身
に耳を傾ける。

⑥ 子どもを温かく見つめ、日々の変容
を細やかに把握して、頑張ったとき
は心から褒め、生命や人権、犯罪、
暴力につながる、人間として許すこ
とのできない行為については、親と
しての切なる思いを込めて全身全霊